

第2節 薬 剤 師

現状と課題

本県の薬剤師数は、平成12年調査では1,254人であり、人口10万人当たりでは151.3で全国平均（171.3）を下回っています。

業務種別薬剤師数の内訳を平成8年と比べると、「薬局・医療施設に従事する薬剤師」については、全国で20.2%増加したのに対し、本県では59人、8.6%増であり、あまり増加していません。「その他の者（無職者等）」については、全国で7.8%減少したのに対して、本県では、17人、19.5%増と逆に増加しています。なお、「薬局・医療施設に従事する薬剤師」は739人で全体の58.9%を占めています。

今後、医薬分業の進展に伴い、調剤薬局薬剤師の確保が必要であり、また、研修会等により薬剤師の資質の向上を図ることが求められています。

施 策

医薬分業の進展に対応し、適切な薬歴管理、服薬指導を行い、的確な医薬品情報の提供ができる薬剤師の養成確保に努めます。

- 1 県薬剤師会と協力し、未就業薬剤師をはじめ県内出身および近隣大学薬学部の学生の県内就業を促進します。
- 2 地域医療の一員として必要な知識習得のため、県薬剤師会が実施する服薬指導や薬歴管理などの資質向上のための研修会に協力していきます。

業種別薬剤師数

(単位：人)

		平成8年	平成10年	平成12年
薬局・医療施設に従事する薬剤師	福井県	680	710	739
	全国	118,854	130,259	142,910
その他の者（無職者等）	福井県	87	86	104
	全国	19,181	18,243	17,680

薬局・医療施設に従事する薬剤師

(単位：人口10万対)

	平成8年	平成10年	平成12年
福井県	82.0	85.5	89.1
全国	94.4	103.3	112.6